

JA三重厚生連は、医療・保健・福祉活動を通じて、組合員と地域住民の皆さまが、安心して健やかに暮らせる地域づくりに貢献していきます。

厚生連だより

Letter of JA Mie Koseiren

Vol. 77

2018. 10

飯高町七日市地区で咲くそばの花。飯高産そば粉 100%の手打ち蕎麦はこの地域の名産



もくじ

鈴鹿中央総合病院増築棟の竣工……………	2
高性能 PACS、多機能ビューワを導入します……………	3
泌尿器科外来の開設について	
／在宅医療・介護連携推進に係る研修会……………	4
全国高等学校 登山インターハイ	
／今年も河川清掃ボランティアに参加します……………	5
職員の医療安全知識向上を目指して……………	6
緩和ケアチームにおける臨床心理士の役割について……………	7
秋の食材で簡単料理……………	8

CHECK!



JA三重厚生連の
取り組みを紹介!

鈴鹿中央総合病院 増築棟の竣工



鈴鹿中央総合病院
事務次長

岩名 敏宏



地域の医療ニーズや効率性を考慮し、平成 28 年度より増改築工事に係る基本設計等の検討を重ね、昨年 10 月に開催された起工式を契機に「鈴鹿中央総合病院増改築工事」がスタートしました。

この度、およそ 1 年の工期を終え増築棟が完成し、平成 30 年 10 月 14 日に竣工式を執り行う運びとなりました。今回の工事にご尽力いただきました関係者の皆さまには厚くお礼申し上げます。

増築棟は鉄骨造 4 階建、延床面積約 5,500㎡となり、1 階には内視鏡センターとリハビリテーションセンターを設置、2 階は会議室・休憩室・職員食堂など職員向けの厚生施設を設けます。3 階には血液浄化センターと外来化学療法室、4 階には新たに緩和ケア病棟 20 床を開設します。増築棟完成により、診療機能の充実をはじめアメニティは改善され、地域住民の皆さまにも喜んでいただけていると考えています。

当院は、二次救急病院、地域がん診療拠点病院、臨床研修指定病院、災害拠点病院等に指定されております。病院スタッフ一丸となり意を新たに、安全・安心で質の高い医療を提供してまいりますので、より一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。また、診療業務はもちろんのこと、健康講座や広報誌等を通じて、健康増進や疾病予防の情報提供等に努め、地域住民の皆さまが安心して健康的に過ごせる地域づくりに貢献していく所存です。

今後は、既存棟（本館）の改修に順次着手し、手狭になった救急外来や中央処置室の移設、拡充および呼吸器センターの移設などを行い、平成 31 年 9 月に全ての増改築工事が完了する予定です。引続き患者さまや周辺地域住民の皆さまには、ご迷惑をお掛けしますが、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

画像管理、画像診断に高性能PACS、多機能ビューワを導入します。 ～質の高い医療に向けさらなる前進～

三重北医療センターいなべ総合病院 放射線科部長 大島 秀一

平成30年9月、当院にJIMACSシステムの高性能PACS（FAIRWORKS XTRACTSERVER）、多機能ビューワ（XTRACTVIEW）【※1】が導入されました。PACSシステムは院内で発生した様々な画像の管理、配信を行うシステムです。今回導入されるPACSは、配信先のモニタ解像度に合わせ、画像を高画質かつ高速に配信することが可能です。接続端末にはリッチクライアント方式【※2】が採用されており、サーバーやネットワークの負荷をかけずにWebブラウザベースのシステムでは困難な機能を提供し、スムーズな画像運用が可能になります。画像容量の大きなマンモグラフィも専用端末はもちろん、電子カルテで参照する場合でもストレスなく表示、閲覧が可能です。読影用のビューワは非常に多機能で、日々の読影業務に耐える各種機能を搭載しているほか、ショートカットキー、ショートカットメニューのカスタマイズはもちろん、マクロ機能までも実装しています。マルチドキュメントビュー機能は、画像とは異なるファイルであっても画像表示ウィンドウにドラッグ・アンド・ドロップすることで、ファイルの表示や保

存、DICOM形式へ変換して新規シリーズとしてインポートする機能で、画像ビューワでありながら文書管理も容易に行えるようになっていきます。ビューワとしての特記すべき機能としては4Dビューワがあります。通常のCTやMR等の横断画像は二次元で、それをページングして閲覧します。ページングすることで頭尾側方向の位置情報が加わり三次的に理解が可能になります。近年多用される時間分解能が向上したダイナミックスタディ【※3】やパーフュージョンスタディ【※4】では、さらに時間軸が加わることになりませんが、この検査で出力される膨大な画像を束ねて一つの画面で閲覧を可能にするのが4Dビューワです。高速画像配信が可能なPACSと高機能ビューワの組み合わせだからこそ可能な機能と思われる。PACS、ビューワにあわせてレポートシステム（LUCID）も導入されます。レポートシステムは放射線部門だけでなく、他部門のレポートも同時に管理可能で、院内の様々な領域で利用することを想定しています。

と期待しています。放射線部門では管理者としてPACSやビューワの性能を余すことなく引き出し、臨床への画像の提供や画像診断を通してこれまで以上に質の高い医療の提供につながるように努めて参りたいと思います。



【※1】多機能ビューワ
ファイルの内容を見るためのソフトウェア。ブラウザともいう。表示専用で、通常は編集や保存はできないがコンパクトで動作が軽いのが特徴。画像ファイルをスライドのように表示するものや、高度な検索機能を備えたものの事。

【※2】リッチクライアント方式
クライアント／サーバー間での連携機能を持ちつつグラフィカルなUIで表現力・操作性が高いうえに、Webアプリケーションとして実現できる為、配布の簡易化などが得られる。

【※3】ダイナミックスタディ
造影による効果を時間を追って検査する場合の事。

【※4】パーフュージョンスタディ
組織の毛細血管あるいはそれに準ずる機能血管系の血流を検査する場合の事。

泌尿器科外来の開設について

(診療日時：第1、3、5金曜日9：00～13：00)

南島メディカルセンター 泌尿器科医師 岩本陽一

平成30年8月より泌尿器科を開設いたしました。担当医の岩本陽一と申します。今まで泌尿器科専門医・泌尿器科指導医として、三重大学・伊勢赤十字病院・三重中央医療センター・済生会明和病院等にて培った知識、経験を生かして、地域の皆様の立場にたった、わかりやすく温かい診療を心がけてまいります。

南島メディカルセンター泌尿器科で診療を行う具体的な症状は以下の通りです。

・排尿、尿の症状

尿の勢いが弱い、排尿回数が多い、排尿時の痛み、尿漏れ、尿意の我慢が出来ない、尿に血が混じる、尿がにごる、お子様の夜尿症など

・陰嚢、男性性器の症状

陰嚢の痛み、しこりを触れる、腫れるなど

・検診で異常を指摘された

尿潜血、尿蛋白などの異常、前立腺腫瘍マーカーPSAが高い

・排尿力テーターに関する相談や管理

定期的な力テーター交換、自己導尿の指導・継続

・男性外来

男性更年期、ED治療、男性不妊の相談

・癌治療、術後の経過観察

前立腺癌に対するホルモン療法、前立腺癌術後のPSA定期検査

などで、これらの症状に対する診療を主に行っております。

泌尿器科というと「恥ずかしい」「痛いことをされるのでは？」などのイメージがあるかと思いますが、ほとんどの方にそのような検査、処置をすることはございません。プライバシーにも十分な配慮のもと診療を行っております。近年、泌尿器科疾患は増加の傾向にあります。決して男性だけが受診する診療科ではございません。泌尿器科の診療範囲は幅広く、腎臓や尿管、膀胱、前立腺そして尿道などの尿の産生から排尿までの尿に関係する臓器のすべてを扱っております。老若男女を問わず、どのような些細なことでもお気軽に当センターにご相談下さい。どうぞよろしくお願いいたします。



在宅医療・介護連携推進に係る研修会

「健康で充実した生活を送るために」

大台厚生病院 事務次長兼医事課長 山本隆二

大台厚生病院は、医療・福祉の連携を深める為に大紀町と大台町の各施設関係者で定期的に研修会を行っています。昨年度から始めて今回で5回目になります。今回も沢山の地元事業所の方々に参加して頂きました(下記参照)。毎回テーマを決めて、多数の職種の方々に集まって頂き研修を行います(下記参照)。研修も重要ではありますが、医療と福祉の関係者が一同に集まるということは大変有意義な事であると感じております。顔の見える連携というのは、スムーズな連携に繋がりがり、しっかりと強固な連携の始まりであると考えています。

地域全体で医療をささえていきたいと考えています。

〈参加事業所〉

大紀町役場・大台町役場・地域包括支援センター・診療所・居宅介護支援事業所・デイサービスセンター・社会福祉協議会・グループホーム・歯科医院・薬局・ケアプランセンター・ヘルパーステーション・介護シヨップ・度会広域連合等

〈参加職種〉

診療所医師・歯科医師・薬剤師・保健師・介護支援専門員・社会福祉士・相談支援員・ホームヘルパー・介護職員・管理栄養士・事務員等

今回は「透析について」というテーマで研修を行い宮前診療所の尾邊利英先生から講義をしていただいた後、当院の透析室も見学していただきました。参加者からは普段は見学できない場所や機材にふれる事ができ大変満足いく研修会との感想をいただきました。

今後このような研修会を継続して行い、



透析室見学



尾邊利英先生の講義

全国高等学校登山インターハイ

～救護に参加して～

三重北医療センター 菰野厚生病院 外科外来 看護師 三木 恭子

平成30年度全国高等学校登山インターハイが8月3日より5日間に渡り菰野町にて開催されました。

各47都道府県の代表からなる団体男女それぞれ1パーティ4名と監督1名から構成され、計376名の選手・94名の監督が参加していました。3泊4日に渡り標高1212mの御在所岳周囲の山々を体力・歩行技術・装備・設営・撤収・炊事・気象・自然観察・計画・マナーなど様々な項目で点数を競う登山大会でした。

今年は猛暑であり急遽当日のコース変更や荷物の軽量化などの対策が行われ、さらに山岳医師からは、脱水の評価のため下山した選手の尿検査をできるだけ促すようにと救護所へ指示があるほどでした。救護所には脱水・擦過傷・感冒症状・捻挫・関節痛などの様々な症状の選手がやってきました。応急処置をしても翌日に再度登山可能かどうかの判断が重要になります。なぜなら、選手にとって行動離脱は減点になり、リタイアは順位がもらえなくなるからです。学生生活の大半を練習時間に費やし努力を重ね県代表になり、インターハイ出場まで勝ち上がってきた選手にとって、体調不良になることはメンバーに迷惑をかけ、自分の努力してきたことが無駄になる気がして、

体調不良を耐えてでも参加しようと思います。しかし無理をすることは危険であり更に多くの人に迷惑をかけることになります。医師・監督をふくめて安全登山の説明・相談を行い、これからの人生でもっとすばらしい色んな山々に出会えることなどを選手に語り、行動離脱を勧めるなどの決意を促して、みんなが涙する場面もありました。

間近で選手に接することにより「なんとかしてあげたい」という気持ちから自身の中で高鳴り、選手が翌日に少しでも痛み・疲れがとれて登山に支障がないことを願いながらケアにあたりました。選手一人ひとりにインターハイへの想いがあり、私も熱くなる感動をもらいました。一生懸命とりくむことの意義やすばらしさは私自身の励みにもなり、時に思い出し「力」を与えてくれることと思います。

このような機会を与えて下さり感謝いたします。ありがとうございます。



休憩中の様子



宿泊テントの様子

今年も河川清掃ボランティアに参加します

～次回の開催に向け参加者を募集中～

鈴鹿厚生病院 地域支援室 作業療法士 岡野 元保

鈴鹿厚生病院の近くにはカワセミヤオオタカなど貴重な野鳥をはじめ、多様な生物が観察できる田古知川（たこちがわ）と金沢川（かなさいがわ）が流れています。

昨年度5月と12月に田古知川・金沢川の清掃活動を地域の自治会、地元の中学生、大学生と共に行いました。全体では約100名の参加があり、当院からは15名が参加しました。

川床に降りる回収班と、集められたゴミを仕分ける分別班にわかれ、作業を行いました。川には空き缶、ペットボトル、古タイヤ、自転車など、予想を超えるゴミに溢れていました。12月の清掃活動時には5月と比べて随分とごみの量も減っており、清掃活動を行った意味があったかなと感じました。

今年も11月10日に開催される予定で、当院からも15名ほど参加を予定しています。清掃ボランティアは現在も募集中ですので、興味のある方はぜひご参加ください。

鈴鹿厚生病院では夏フェスや病院祭を開催しています。なかなか地域の方々と共同で活動を

行う機会は少ないので、今後も交流を持ちながら活動を続けていきたいと思っています。

また、病院職員として地域の中での役割も見つけていきたいと思っています。



参加者集合写真



分別作業中



分別作業中



川の中の清掃作業中

第3回河川クリーン活動 ボランティア 大募集！

第3回 田古知川・金沢川の清掃活動
ボランティアを募集します。

日時：平成30年11月10日（土）少雨決行
午前10時～午後2時頃



職員の医療安全知識向上を目指して

医療安全全体研修会を開催

松阪中央総合病院 医療安全管理者 神内 順子

医療安全管理室では、全職員対象の研修を年2回開催しています。また、職種ごとに必要な研修を適宜開催し、医療事故防止のための知識・技術の習得及び事故発生時の対応について学べるよう、看護部教育委員会との連携も図っています。

平成30年度は6月25日・28日・7月2日・17日に、第1回医療安全全体研修会を開催しました。1時間半〜2時間の間に約30分のDVDによる動画講義を行い、内容は「①薬剤取り違い ②輸液ポンプのフリーフロー ③不眠・夜間せん妄を起こした患者さんへの対応」としました。

全体で81.2%の出席率で、部署によっては100%の出席率と参加に協力して頂きました。

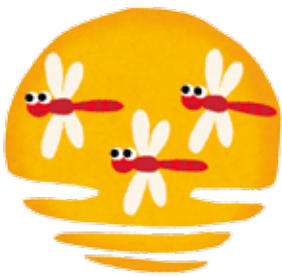
動画講義の中で日常困っている、コミュニケーションエラー、5Rの確認、作業中断時の再確認、直前確認、せん妄患者さんへの対応などがあり、「再現映像でわかりやすかった」という感想が多くありました。

ルールを守る、声だし指差し確認をする、直前に確認をすることはとても重要であり、さらに、相手を思いやりわかりやすく伝える、伝わったかどうかと思いこまないなど、相手の思いやることが大切との感想も多く、今後の診

療や看護に活かしていける研修となりました。正しい知識と技術を職員が相互に教えて伝えていくことができれば、患者さんへの安全な医療の提供が継続できると思います。

また、「わからない専門用語があった」「職種によっては仕事の内容が違いわかりにくかった」という少数意見もあり、全体研修で全職種に伝える難しさを実感しました。全職員が興味を持てる研修を実施していくことが、今後の課題です。

当医療安全管理室は、平成30年4月より新メンバーとなり、組織横断的な改善が行なわれるよう、各部門へのラウンドを行うなどの取り組みを行っており、情報共有し、問題の改善策の立案と実施、その評価を行い、常に各部門の臨床場面において積極的な医療事故防止の取り組みが行われるようサポートしていきたいと思っています。



医療安全だより

医療安全管理室 2018年8月

6月25日・28日・7月2日・17日 H30年度第1回医療安全全体研修会を行いました。

お忙しい中多数ご参加いただき、ありがとうございました。

アンケート結果

- *どのような場面においてもコミュニケーションが必要
- *焦っている時こそ注意してチェックする
- *中断した場合最初からやり直す
- *相手を思いやり、相手にわかりやすく伝える
- *わかりやすいDVDであった
- *事例がリアルでドキドキした
- *指差し・声だし確認・直前確認が必要
- *時間を気にせず受けられたのがよかった
- *ちょっとした変化や異常は速やかに看護師に伝える
- *ルールを守る
- *どの職種でも確認・ルールを守ることが大事
- *伝わっているだろうと思い込まない

少数意見

- *職種の合わない内容もあった
- *スライドの上下が切れていた
- *わからない専門用語があり難しかった
- *研修時間の幅をもっと広げてほしい

ありがとうございました。今後の研修会の参考にさせていただきます。



研修会参加率



全参加率 職員81.2%

緩和ケアチームにおける臨床心理士の役割について

鈴鹿中央総合病院 リハビリテーション科臨床心理士 山村真

現在私は鈴鹿中央総合病院で緩和ケアチームの専任臨床心理士として働いています。平成28年4月にJA三重厚生連に採用となり、鈴鹿中央総合病院に来て今年で3年目になります。今回は緩和ケアチームにおける心理士の役割についてご紹介させていただきます。この趣旨ですが、これはなかなか難しいテーマです。緩和ケアチームにおける心理士の役割はまだ明確でなく、『緩和ケアチーム活動の手引き』（日本緩和医療学会 平成25年）を紐解いてみても、心理士の役割については何も触れられていません。周りを見回してみても、心理士一人ひとりが自分の得意とするところやそれまでの自分の経験を踏まえて手探りで仕事をしているというのが実情のようです。ですから、今回ここでご紹介するのはあくまでも私の考える心理士の役割であり、心理士がみなそのように考えているわけではないことを予め申し添えておきます。

緩和ケアチームは重い病気を患ってもその人らしく生活が送れるよう支援していきます。この「その人らしく」ということを考えたとき、患者さんその人のことを知らなくては始まりません。これが抜けてしまっ

たら、支援しようにも独りよがりなものになりかねないのです。どのような生い立ちなのか、仕事は何をしているのか、家族状況はどうか、趣味や特技は何か、大切にしている価値観や信念は何かなど、その人自身のことを知るよう努め、そこから心理的な問題を見立てていきます。がんになったら誰しもが落ち込まない不安になったり気分が落ち込んだりします。しかしそうは言っても、そこには患者さん一人ひとり固有の意味があり、またストーリーがあります。こうした個性を探求していくのが臨床心理学という学問であるのです。

現在は多職種がそれぞれの観点をもちよって患者さんに関わるチーム医療ということが盛んに言われますが、とりわけ私たち心理士は患者さんの主観的体験を重視します。つまり、病気についてどのように受けとめているか、今後についてどう考えているか、この人にとっての恐れあるいは希望とは何かなど、患者さんが感じたり思ったりしていることです。このようなことを思いめぐらしながら患者さんの話をうかがい、どうしたらいいのかの答えを患者さん自身の中に見つけだすように努力し

ています。ですが、ここで書いているほど実際にはうまくいきません。日々悪戦苦闘しているというのが正直なところです。

緩和ケアで出会う患者さんと接していると、小手先の技術でどうにかしようと思ってもまったくダメで、一人の人間としてのこちらの価値観が問われているように感じる場合があります。病気がもつ治療の施しやうのない段階にまで至り、残された命があと数カ月しかない患者さんを前に、どうやったらその人の苦悩を取り除くことができるでしょうか。こう自問してみたとき、私は専門家としての自分自身の限界に突き当たり、不甲斐なさを感じずにはいられません。これは緩和ケアで仕事をしている医療者には多かれ少なかれ避けられない感情だと思えますし、そしてまたこのような自分自身の無力感とじっくり向き合うことはとても大切なことだと思えます。というのも、こうした私たちが感じる気持ちは、死に直面している患者さん自身が抱えている気持ちと相通じるところがあると思うからです。心理士として私にできる最善の努力は、自分のところを通して患者さんの苦しみを理解していくこと、そしてそれに

持ちこたえながら、自分の仕事の意味を見出していくことだと、これまでの経験を通して自分なりに考えています。

「患者の苦しみを理解することは不可能であっても、理解する努力を継続的に提供することが、患者のために医療者がなす最も支持的なかわりであり、患者の精神的苦痛に対して治療的に働く」のです。何ができるかということはもちろん重要ですが、それよりも重要なのは、その人にとって自分がどのような存在でありうるのかということだと思います。つまり、beingではなく、doingということでしか私たちの仕事を本当には評価することができず、ここにこそ緩和ケアという仕事のやりがいと難しさの両方があるように感じています。



秋の食材で簡単料理

～食欲の秋ならではのレシピに注目～

三重北医療センター 菰野厚生病院

栄養管理科主任 中谷 理恵

食欲をそそる美味し食材がたくさん出る秋到来！

ビタミン・ミネラルが豊富に含まれている食材が多く、美容効果、疲労回復効果などがあります。秋の簡単料理を紹介します。



鮭ときのこの和風パスタ

材料（一人分）

- 生鮭…1切れ
- 塩・こしょう…適量
- しめじ・エリンギ・まいたけ…各50g
- 大葉…1枚
- にんにく…1/2片
- スパゲティ…100g
- オリーブオイル…6g
- （大さじ1/2）
- しょうゆ…6g
- （小さじ1）

一人分 エネルギー

480キロカロリー

塩分 1.2g

①生鮭は皮と骨をとり食べやすい大きさに切り、塩、こしょうで下味をつける。しめじ、まいた

けは小房に分け、エリンギはくし切りにする。

②沸騰させたお湯に塩を加え、スパゲティをゆで、ざるに上げる。

③フライパンにオリーブオイルを入れ、にんにくを弱火で熱し、香りが出たら、鮭、しめじ、エリンギ、まいたけを加えて炒める。

④スパゲティを加えて、しょうゆ、こしょうを加えて、炒め合わせ、大葉を散らす。

じゃがいも団子のスープ

材料（一人分）

- じゃがいも…60g
- （1/2個）
- 片栗粉…9g（大さじ1）
- 塩・こしょう…適量
- 玉ねぎ…25g（1/8個）
- 人参…20g（1/8本）
- ベーコン…1枚
- パセリ…少々
- 水…200cc
- コンソメ（固形）…1/2個

一人分 エネルギー

110キロカロリー

塩分 1.5g



- ①じゃがいもは皮付きのまま濡らしたキッチンペーパーで包み、ラップを巻き、電子レンジで3分加熱する。（加熱時間は調整）
- ②①のじゃがいもの皮をむき、つぶす。片栗粉、塩を加えさらになめらかになるまで混ぜ、一口サイズに丸める。
- ③玉ねぎ、人参は1センチの角切り、ベーコンは1センチ幅に切る。
- ④鍋に水とコンソメを入れて火にかけて、人参を入れて沸騰させる。玉ねぎ、ベーコン、②で作ったじゃがいも玉を加え、弱火で中火で10分程煮る。
- ⑤塩、こしょうを入れ味を調える。
- ⑥器に盛り、パセリのみじん切りを散らす。

JA三重厚生連

人に 地域に やさしい看護

看護師

助産師

看護補助員

介護福祉士

募集

三重北医療センター
菰野厚生病院

本部

大台厚生病院

三重北医療センター
いなべ総合病院

鈴鹿厚生病院

鈴鹿中央総合病院

松阪中央総合病院

南島メディカルセンター

厚生連だより Vol.77

2018.10 発行

発行／三重県津市栄町1丁目960番地

三重県厚生農業協同組合連合会

TEL 059-229-9191 FAX 059-224-4354

http://www.miekosei.or.jp/ E-mail:info@miekosei.or.jp



自然保護のため、石油系成分の少ない植物油性インキを使用しています。